



アミール・ツアルファティ
[シャブオットの本当の意味]

https://youtu.be/QI-AAfmN5_A



もしも、神は、教会に関する預言を、その 2000 年前、絶対に考えられないようなところ、パンのレシピに立てておられたとしたらどうしますか？

今日は、理解すると本当にびっくりする話、7 週の祭りにおける、神の完璧なタイミングです。ヘブライ語ではシャブオット、私たちの多くがペンテコステと呼ぶもの

です。

多くの人は聖書の例祭を見て思うでしょう。「ああ、それはただのユダヤの伝統だ。」ところが、皆さん、これらは不特定に定められたただの祭りではありません。これらは歴史を通じて立てられた神の預言です。ペンテコステ？これは神の完璧なご計画の最も驚くべき例の一つです。

まず、ペンテコステとは何かを見てみましょう。**レビ記 23 章 15-16 節**で、神はイスラエルの民に命じました。

“あなたがたは、安息日の翌日から、すなわち奉献物の束を持って来た日から、満七週間が終わるまでを数える。七回目の安息日の翌日まで五十日を数え、あなたがたは新しい穀物のささげ物を主にささげなければならない。”

この祭りで、ユダヤ人は、二つのことを祝います。『小麦の収穫』『シナイ山で与えられた律法』つまりトーラー。しかし、ここに、神の粋な計らいがあるのです。約 2,000 年前のこの日に何が起こったか覚えていますか？ **使徒言行録 2 章 1-4 節**にこう記されています。

”五旬節の日になって、みなが一ヶ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しだした。”

この驚くべきつながりに気づきましたか？イスラエルの民が石の板に書かれた律法を受け取ったことを祝った、まさにその日に、神は御霊を遣わして、神の律法を人の心に書き記されました。これは偶然ではありません。これは何千年も前に定められた、神の定めなのです。このように考えてみてください。もし神が映画監督だったら、神は、伏線回収で賞を総賞めにしていたでしょう。

影（伏線）は旧約聖書に登場します。しかし、その本体、現実はキリストの中にあります。パウロは**コロサイ人への手紙 2 章 16-17 節**でこう書いています。

”こういうわけですから、食べ物と飲み物について、あるいは、祭りや新月や安息日のことについて、だれにもあなたがたを批評させてはなりません。これらは、次に来るものの影であって、本体はキリストにあるのです。”

もう一つ、パワフルなものがあります。シナイ山で律法が与えられたとき、出エジプト記 32 章 28 節には、罪のために、その日、おおよそ三千人が倒れたと書かれています。早送りして、**使徒行伝 2 章 41 節**のペンテコステの日、

”そこで、彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。”

全く同じ数です。「律法は殺し、御霊は生かす」これは偶然ではありません。これは、神がその驚くべきご計画を披露しておられるのです。

もっと掘り下げる準備はいいですか？**レビ記 23 章 17 節**で、神は、ペンテコステについて具体的に指示しておられます。それは一見奇妙に思えました。

“あなたがたの住まいから、奉獻物としてパン——主への初穂として、十分の二エパの小麦粉にパン種を入れて焼かれるもの——二個を持って来なければならない。”

気づきましたか？このパンには、パン種が入っています。これは、かなり異例です。なぜなら、聖書全体を通して、パン種は概して罪を象徴しています。過越祭の間、家からすべてのパン種を取り除かなければなりません。レビ記にある他の穀物の捧げ物はすべて、パン種を入れずに焼かなければなりません。しかし、ここでは、神は、具体的にパン種を入れるように命じておられます。

神は、なぜ、パン種の入ったささげ物を求めておられるのか？なぜなら、この二つのパンは、キリストの体を完璧に表しているからです。一つは、ユダヤ人を表し、もう一つは、異邦人、どちらもパン種が入っています。なぜなら…皆さんが、私からこれを聞くのは、今回が初めてではないことを願いますが、私たちは皆、人生において罪を犯します。しかし、私たちの不完全さにもかかわらず、神は、私たちを神のものとして受け入れてくださいます。

そして、見てください。パンが二つです。一つでも三つでもなく、二つ。これは適当ではなく、これはユダヤ人と異邦人が、メシアにおいて一つとなり、それでいて、それぞれの独自のアイデンティティは維持されていることの描写です。異邦人が信仰に至ったとき、神は驚きませんでした。神は、最初からそれを計画しておられたのです。

そして、聖霊が、ユダヤ人と異邦人の信者が一つになったこの体を生み出したのはいつですか？ — ペンテコステ、この、パン種が入った二つのパンが捧げられる、まさにその日です。

シャブオットの奇跡は、単なる歴史的な出来事ではありません。これは、今日の私たちにとって生きた現実です。考えてみてください。まさに、神が、パン種を入れた異なる二つのパンを取って御前に置かれたのと同様に、神は、私たちに対しても同じことをしておられます。ユダヤ人と異邦人、どちらも不完全で、それでも、両者ともメシアを通して神の御前に受け入れられました。

ペンテコステは、神の御心について、非常に深い事を示しています。神は、私たちを受け入れる前に完璧さを求めておられません。主は私たちを、パン種、私たちの不完全さとともに受け入れ、そして、私たちを、御霊によって変えてくださるのです。

約 2000 年前、あのシャブオットの朝、御力とともに下された御霊と同じ御霊が、あなたと私の中に生きています。もう一つ考慮すべきことは、

”すると民はみな口をそろえて答えた。「私たちは主が仰せられたことを、みな行います。」”

出エジプト記 19 章 8 節

しかし、彼らは失敗しました。彼らは、自らの力でやろうとしたからです。ペンテコステの日、神はこう言われました。

”わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ…”

エゼキエル書 36 章 27 節

法律の下ではできなかったことを、御霊を通して神がしてくださいます。だから、シャブオットは非常に大切なのです。この日、神の臨在が、人の手で作られた神殿から、人の心の中に移り住まわれたのです。この日始まったたましいの収穫は、今この瞬間も、より多くの人々が、私たちの救世主であるイエシュアを信じる中で続いています。

シャブオットを理解すると、神の完璧なタイミング、神の完璧なご計画、そして、ユダヤ人と異邦人、両方に対する神の驚くべき愛が分かります。この例祭を祝うにあたり、思い出しましょう。私たちは、主の御前に共に捧げられた二つのパンです。私たちは、独自のアイデンティティを維持しながら、神の御霊によって一つの体となりました。神の知恵と愛の驚くべき描写です。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル



ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>
